

かんの代表質問

3月定例会

行政経営改革の実行を!

石井市長にリーダーシップを求める



■代表質問をするかんの 2月26日

西宮市議会議員

かんの雅一まさかず

見据えて行政経営改革を実施し、行政の効率化を図ることによって、教育や子育て支援、高齢者福祉、障害者福祉、災害対策などの自治体に課されている責務を着実に果たし、拡充するだけの財源を安定的に確保しなければいけません。

令和3年度一般会計の当初予算の歳入では、市税について851億円を見込んでおり、2年度当初予算より26億円、3.0%の減少としています。市民税は市税の47.7%を占める406億円で、2年度当初予算より24億円、5.7%の減少としています。

悪化する財政状況

市民税が大幅に落ち込んだ過去のケースとしてはリーマンショックが挙げられ、平成21年度決算の市民税は前年度比約20億円の減少になり、22年度決算ではさらに前年度比約20億円の減少になりました。新型コロナウイルス危機は幅広い産業分野に大きな影響を与えており、税収の落ち込みはリーマンショック時を上回るとみられています。

今後は人口減少と一層の高齢化が見込まれているため、税収が増えることは考えにくく、将来的には地方交付税などの削減も想定しておく必要があり、財政状況が厳しくなることは避けられません。

「リーダーシップを発揮」と石井市長これに対し、石井市長は「職員の意識を引き出しながら、私がしっかりリーダーシップを発揮し、必要な予算もつけながらやっていきたい」と答弁しました。

行政経営改革の実施には石井市長の強いリーダーシップが必要です。会派・ぜんしんは行政経営改革の推進を強く求め、実行状況を監視し、必要に応じて提案をしていきます。

行政経営改革として、業務の抜本的な見直しと取捨選択やデジタル・トランスフォーメーション(DX)4面の「言葉の解説」に関連記事、職員数の適正化、収納対策の推進、内部統制の推進と監査機能の充実・強化、公共施設の全量削減を図る公共施設マネジメントなどを着実に実施する必要があります。

実行状況を監視し提案します

この状況の打開には、行政経営改革の実行が不可欠です。市は令和元年10月、行政経営改革基本方針を定め、22年度から3年間を取り組み期間とした行政経営改革前期実行計画を策定し、78の取り組みを進めています。これらの改革を着実に進めなければいけません。

西宮市政報告

かんの新聞

第24号 年4回発行

ジャーナリストの視点で調べる・伝える



元産経新聞記者 保守系無所属

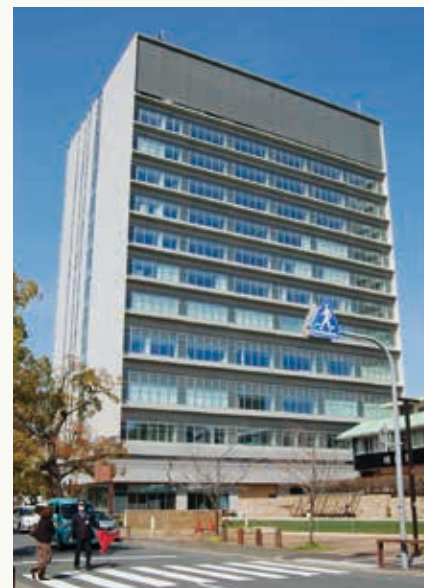
防災などの中枢拠点に＝各部局の再配置も＝

市が六湛寺町の旧教育委員会庁舎などの跡地に整備してきた第二庁舎(危機管理センター)が4月、完成しました。防災関連の各部局が6月までに順次、入居して業務を始めます。

第二庁舎は本庁舎の道路を挟んで東側に位置し、地下1階地上12階建て延べ約1万6600平方メートル。南海トラフ巨大地震などの自然災害をはじめ、さまざまな危機事案に対応する防災・危機管理の中枢拠点として整備しました。

免震構造を採用し、電力やガスなどのライフラインを複数の手段により確保。屋上にはヘリポートを設け、大規模災害時でも業務継続が可能な環境を整えました。

危機発生時に情報の集約や指示などを行う対策本部室やオペレーションルームなどを設置。消防局や総務局危機管理室、同局デジタル推進部、上下水道局、土木局、都市局などが入ります。市は第二庁舎の完成を契機として、本庁舎の周



■西宮市役所第二庁舎(危機管理センター) 六湛寺町

辺に分散している庁舎の集約と各部局の再配置を進めます。教育委員会は10月をめどに東館から本庁舎に移転。健康福祉局厚生課は12月をめどに西館から南館に移ります。保健所は令和4年度に江上町の庁舎から池田町の上下水道局庁舎に移転する予定。

市は将来、人口減少が見込まれ、財政状況が厳しくなることから、公共施設の縮減を計画。市が保有する施設の総延べ床面積の10%を令和14年度までに縮減し、44年度までに20%を縮減することを目標にしています。

しかし、実態としては総延べ床面積は増加傾向にあり、第二庁舎の完成によって、さらに増える見通しです。私は市の施設全体の縮減に向けて具体的な計画を策定して推進するように市当局に迫っていきます。

いつでも電話を!

新型コロナウイルスの感染拡大が私たちの暮らしを直撃しています。感染への不安や体調、仕事、経済的な問題、家庭の問題をはじめ、色々な事情でつらい思いをされている方が多いと思います。悩みを抱え込まないでください。いつでもいいので私に電話してください。一緒に考えましょう。私の連絡先はこのページの下に記載しています。メールやFAXでも結構です。

定期送付のご案内

西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビュ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

メール・FAXでのお申し込みは本紙最下段に記載の宛先まで

言葉の解説

DXとは何?

「デジタル・トランスフォーメーション」の略称で、「デジタル技術が全ての人の生活を、あらゆる面でより良い方向に変化させる」ことがコンセプト。市は行政経営改革のうちICT化やデジタル化によって実現を目指す取り組みについてDXと位置づけ、3月に「DX推進指針」を策定。①DXへの職員の心構えである5原則②DX推進の方向性を示す令和10年度のビジョン③DXの推進体制④導入手法一などの基本的な考え方を盛り込みました。



本名: 菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。昭和60年に産経新聞社に入社。平成27年1月に退社し、同年4月の市議選に初当選。31年4月の市議選で再選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会副会長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。防災士。

次号は令和3年8月の発行予定です

かんの雅一事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530

《MAIL》info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

かんの雅一

検索

